

国際フォーラム：グローバル・グリーンサプライチェーン を共に目指して -林産業イニシアティブ-

主な成果

森林は非常に重要な陸域生態系で、環境面、社会面、文化面、経済面で不可欠なサービスと機能を提供しており、人類はこれに依存している。森林の再生と持続可能な経営は、特に責任ある消費と生産、気候変動対策、陸域の生命に関する持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）の達成にも寄与するであろう。

森林は実に今日我々が直面している前例のない世界規模の問題の多くの解決に貢献し得る。例えば、炭素隔離および貯留による気候変動緩和である。とりわけ熱帯地域では、持続可能な森林管理により生物多様性の減少が抑えられ土地資源や水資源の劣化が食い止められると同時に世界人口の急激な増加に連れて拡大する森林製品への需要が満たされる。

森林製品は持続可能な森林経営の主要な収入源の1つで、歴史を通じて不可欠な材料であり続けている。用途は幅広く、住宅・建設・造船・家具やその他多くのセクターで利用されている。気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change）による最近の特別報告書によると、持続可能な方法で経営・管理された森林および森林製品は二酸化炭素を大気から隔離し陸域の吸収源と林産物に貯蔵し、再生不可能な物資やエネルギーに代替利用できるため、低炭素化と生物を基盤とした循環経済への移行の重要な要素である。この点は、気候変動に対する自然主体の解決策は森林から市場までを包含する合法性と持続可能性を備えたサプライチェーンという枠組の中でしか完全に達成し得ないことから、今日この場に集まった森林産業に密接に関連する。

合法で持続可能なサプライチェーンの便益を活用するには、サプライチェーンとバリューチェーンに携わる多くの人々による強固な関与と調整され裏付けされた行動が求められる。本フォーラムの参加者は合法かつ持続可能なサプライチェーンを実現するための次のような要素を特定した：十分な技術的専門知識、研究、キャパシティビルディングおよびノウハウ、適切なビジネスに対する財政的・他のマクロ経済的奨励策、低金利の資金調達手段の利

用機会、意思決定に役立つ情報とデータの入手可能性、安定した法律、透明性とグッドガバナンス。

このため、2019年10月22日から23日まで上海で開催された国際フォーラム「グローバル・グリーンサプライチェーンを共に目指してー林産業イニシアティブー」では、森林経営者、生産者、取引業者、加工業者および消費者間の自主的なネットワークを基盤とした情報の共有、協力の拡大、ノウハウの普及による世界のサプライチェーンの全パートナー間のより緊密な協力と交流の促進の必要性が強調された。グローバル・グリーンサプライチェーン (Global Green Supply Chain: GGSC) ネットワークと呼ばれるこのネットワークには、関心があれば世界中のどのようなサプライチェーンの運営者や他の利害関係者でも参加することができる。

国際熱帯木材機関 (International Tropical Timber Organization : ITTO) は、合法かつ持続可能なサプライチェーンプログラム

(Legal and Sustainable Supply Chains Programme : LSSC) の下、他の共催機関と共にGGSCネットワークの設立と運営を支援しこの円滑な実施に積極的に関与している。その作業として次のような活動を速やかに実施に移す予定である：

- 中国でのGGSCプラットフォームの経験を基に活動および協力の形態を策定する
- 既存の世界木材追跡ネットワーク (Global Timber Tracking Network : GTTN) といった誰もが入手可能な情報データベースを構築する
- 現行の国際規則と法的枠組内で既存の合法性・持続可能性検証メカニズムを考慮する
- ITTOプロジェクトの成果に基づき当該情報を毎月一回公表しながらGGSCネットワークの一環としてビジネス間対話および情報交換の実施を支援する (木材と森林製品向け市場に関する情報とデータを含む)

本フォーラムのその他特筆すべき主な成果は以下の通りである：

- GGSCイニシアティブの設立を支持する Union des Forestiers Industriels du Gabon et Aménagistes (UFIGA) と Union Forestière des Industries Asiatiques au Gabon (UFIAG) との協力を強化し3年以内のガボンの森林産業事業を対象とした合法性と(または)持続可能性の独立第三者証明に向け同産業の関与を得る

- 課題、機会、手段を特定し合法かつ持続可能なサプライチェーンの目的を押し進めるために定期的に話し合う国際的企業と民間専門家によるチームを立ち上げる。このチームはGGSCネットワークの一部を成す
- 国際熱帯木材技術協会（International Tropical Timber Technical Association : ATIBT）と中国に所在するGGSC事務局との協力を強化する
- 西アフリカおよび中央アフリカで持続的に生産された木材の影響を増大させるため、ATIBTと中国木材・森林製品流通協会（China Timber & Wood Products Distribution Association : CTWPDA）との対話と協力を強化し、業務関係を正式に開始する

本フォーラムでは合法で持続可能な森林製品を扱う市場は特に熱帯地域での持続可能な森林経営をさらに奨励することとなり得る点および民間セクターがサプライチェーンの様々な過程を結びつける重要な役割を担っている点を認識している。これに従い、私達は全ての利害関係者によるGGSCネットワークへの参加を歓迎する。このネットワークは森林が経済面、社会面、環境面で持つ価値を認識し、自主的・段階的なアプローチにより林業の全工程に合法性と持続可能性を持たせながら森林の価値を高めることを目指している。私達は、民間セクターに対してこの幾重もの便益を受け入れるよう強く促し世界レベルでの取組と参加の持続を求め、現在と今後のGGSCネットワークのメンバーに対して合法かつ持続可能なサプライチェーンの実現に向けた前進を取り入れるよう求める。本国際フォーラムを通じた共同取組は、森林に関する協調パートナーシップ（Collaborative Partnership on Forests : CPF）や持続可能な世界のための持続可能な木材（Sustainable Wood for a Sustainable World: SW45W）に前向きな貢献をするであろう。

私達は全ての利害関係者が合法かつ持続可能な木材サプライチェーンの実現という共通目標に向け尽力するよう強く要望すると共に私達は来年再び会合し進捗報告およびそれまでに獲得した経験の共有を行うことを約束する。

* * *